

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2004-26148(P2004-26148A)

【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-004

【出願番号】特願2003-179282(P2003-179282)

【国際特許分類】

**B 6 0 K 17/24 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 K 17/24

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月7日(2006.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】プロペラ・シャフトを車両に取り外し可能に取り付けるための、自動車のドライブラインで使用される衝突に対して最適化されたブラケットであって、

ブラケットおよびプロペラ・シャフトが衝撃中にはほぼ下向きに車両から引き離されるよう、複数の弱くしたスロットを有する細長部材を備え、

上記スロットは前記細長部材の長さ全体にわたってほぼ垂直に配設されたことを特徴とした最適化されたブラケット。

【請求項2】前記スロットは所定の位置に配設され、かつ所定の負荷に応動して車両から引き離されるように前記プロペラ・シャフトを調整できる所定のレベルに弱くされた請求項1に記載の衝突に対して最適化されたブラケット。

【請求項3】前記細長部材はその長さ全体にわたって可変的な厚みを有している請求項1に記載の衝突に対して最適化されたブラケット。

【請求項4】前記細長部材は中心部よりも端部の方が厚い請求項1に記載の衝突に対して最適化されたブラケット。

【請求項5】前記細長部材は金属製である請求項1に記載の衝突に対して最適化されたブラケット。

【請求項6】前記細長部材はプラスチック製である請求項1に記載の衝突に対して最適化されたブラケット。

【請求項7】前記細長部材はセラミック製である請求項1に記載の衝突に対して最適化されたブラケット。

【請求項8】前記細長部材の前記各々のスロットを独立して調整可能である請求項1に記載の衝突に対して最適化されたブラケット。

【請求項9】プロペラ・シャフトを車両に取り外し可能に取り付けるための、自動車のドライブラインで使用される衝突に対して最適化されたブラケットであって、

中心ペアリングに取り付け可能な、長さ全体にわたって可変的な厚みを有する細長部材と、

長さ全体にわたってほぼ垂直に配設された複数の弱くしたスロットと、を備え、該スロットは所定の位置に配設され、かつブラケットおよびプロペラ・シャフトが所定の負荷での衝撃中にほぼ下方に車両から引き離されるよう調整できるように、所定のレベルに弱くされたブラケット。